

2023年 熊本県内の「活魚」の輸出額が過去最高 ～2024年の輸出額も同水準の見込み～

0 はじめに

2023年に熊本県内を管轄する税関官署の区域に蔵置され、輸出許可となった（生きている魚、以下本資料では「活魚」と表します。）の輸出額^(注1)は13億4,800万円であり、輸出が確認できる1983年以降で最高額となりました。

2024年上半年（1～6月）の輸出額は、9億2,509万円であり2024年の輸出額も高水準で推移しています。

海面養殖業の産出額で熊本県は「まだい」や「のり類」が全国でも上位となっていますが^(注2)、どのような魚種が輸出されているのか調査しましたのでお知らせします。

(注1) 熊本県内を管轄する八代税関支署、同熊本出張所、同水俣出張所、同三角出張所
同三角出張所及び同熊本空港出張所が管轄する区域に蔵置され輸出許可となった金額
(注2) 令和5年漁業・養殖業生産統計より

※調査対象の輸出統計品目番号は、「0301項：魚（生きているものに限る。）」です。
下表は2022年版輸出統計品目表を抜粋したものです。

輸出統計品目番号	品名
0301項	魚（生きているものに限る。）
	－観賞用の魚
0301.11	－－淡水魚
	~~~省略~~~
0301.19	－－その他のもの
	－－その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91-000	－－ます（サルモ・トルク、etc）
	~~~省略~~~
0301.99	－－その他のもの
0301.99-100	－－－たい（たい科のもの）
0301.99-200	－－－ぶり（セリオーラ属のもの）
0301.99-900	－－－その他のもの



本資料に関する問い合わせ

長崎税関 調査部 調査統計課 095-828-8659（直通）
〒850-0862 長崎市出島町1番36号

長崎税関ホームページ <https://www.customs.go.jp/nagasaki/>

※本資料を他に転載する時には、長崎税関の資料による旨を必ず注記して下さい。



(注) 本資料における貿易額は、長崎税関八代税関支署、同熊本出張所、同水俣出張所、同三角出張所及び同熊本空港出張所が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額。

～～もくじ～～

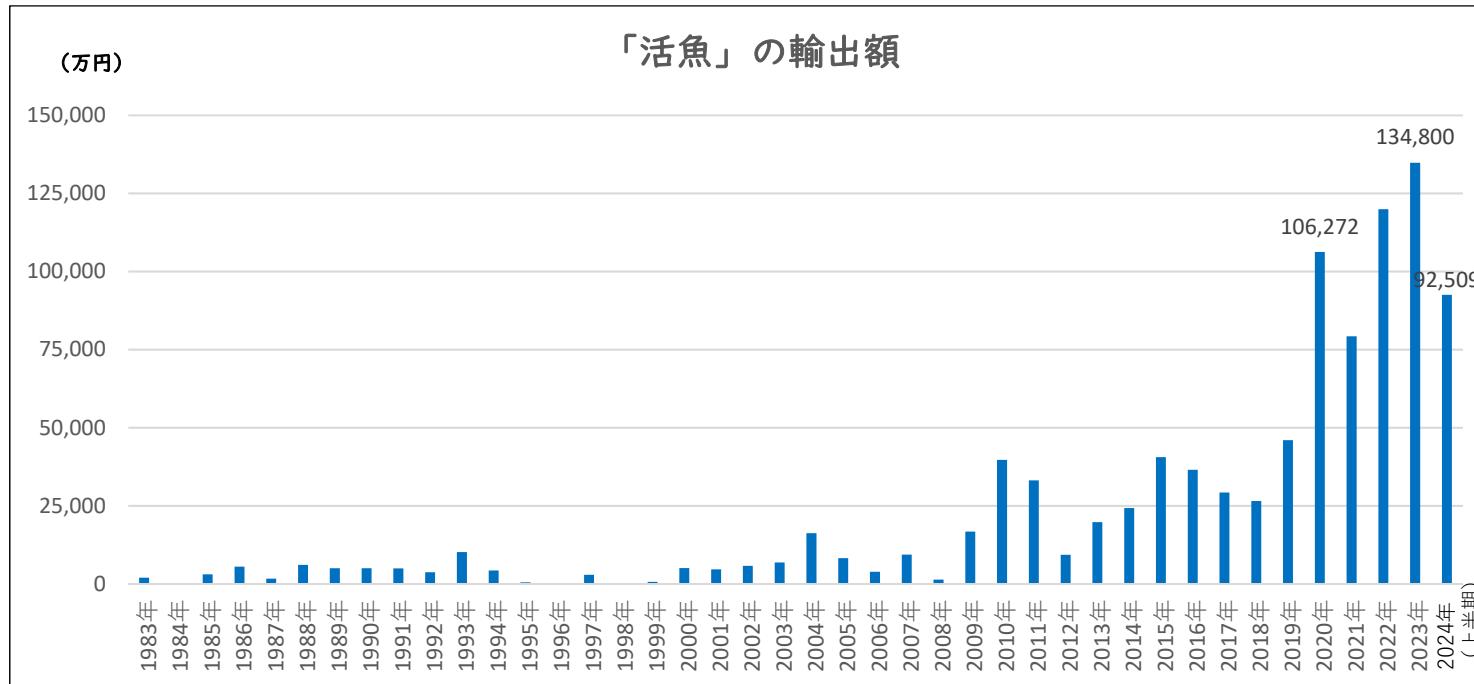
1	輸出額の推移（1983年以降の年別輸出額）	3
2	魚種別の輸出額（2022年～）	4
3	仕向国別輸出額（2022年～）	5
4	資料：輸出統計品目表の変遷	6
5	資料：魚種別輸出額の推移（1983年～）	8

1 輸出額の推移

熊本県内で初めて「活魚」が輸出された1983年の輸出額は1,986万円でした。

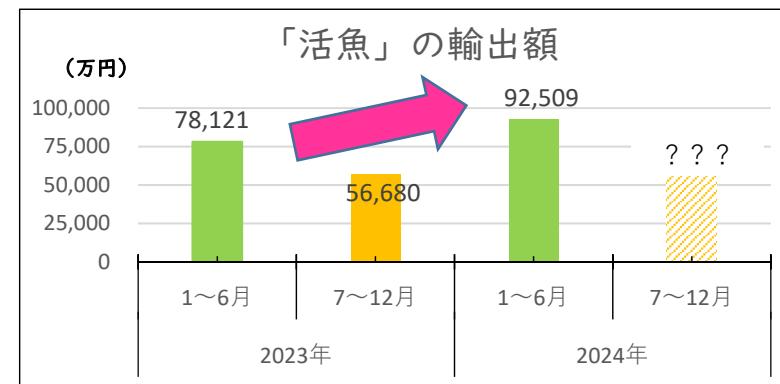
その後、2020年には10億6,272万円となり、初めて10億円の大台を超えるました。

2023年の輸出額は13億4,800万円でしたので、1983年の輸出額に比べ約67.9倍に増加しています。



2024年上半年（1～6月）の輸出額は9億2,509万円となっています。

昨年上半期の輸出額が7億8,121万円でしたので、今年上半期の輸出額は前年同期比18.4%増となっており、今年の輸出額は昨年と同水準若しくは昨年を上回るのではないかと思われます。



2 魚種別の輸出額

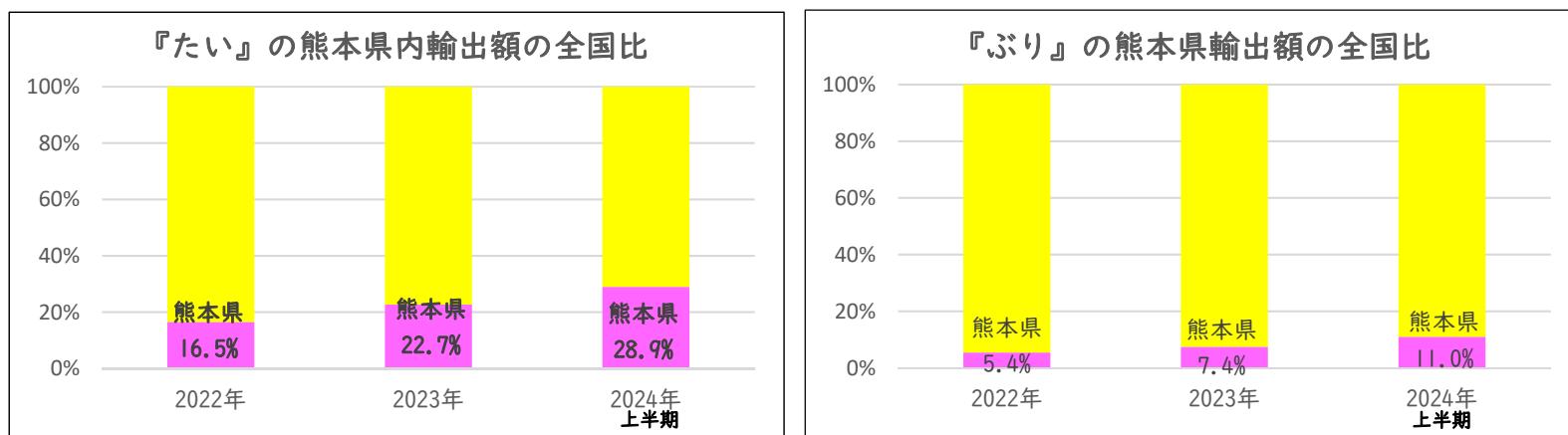
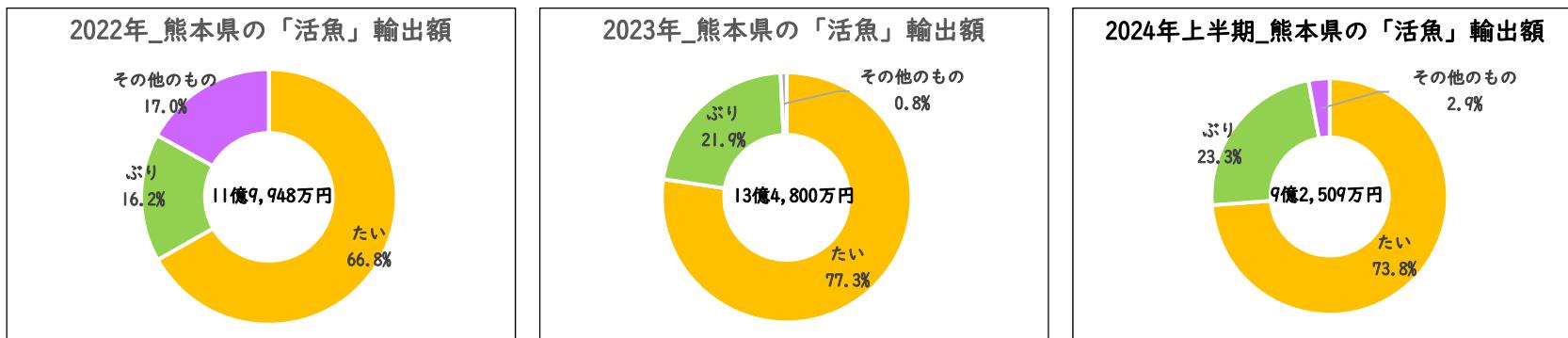
熊本県内で輸出された「活魚」の品名は、下表のとおり「0301.99号」に該当するものとなっています。

「たい」が全体の70%前後を占めており、全国比で見ても2024年上半期の輸出額は3割弱を占めています。

また、「ぶり」の輸出額も増加傾向にあり、2024年上半期は2億1,542万円であり全国比の1割強を占めています。

単位：万円

品名	輸出統計品目番号	2022年			2023年			2024年上半期		
		熊本県	全国分	対全国比	熊本県	全国分	対全国比	熊本県	全国分	対全国比
たい（たい科のもの）	0301.99-100	80,129	485,208	16.5%	104,256	459,314	22.7%	68,302	236,053	28.9%
ぶり（セリオーラ属のもの）	0301.99-200	19,445	357,771	5.4%	29,482	396,979	7.4%	21,542	195,712	11.0%
その他のもの	0301.99-900	20,374	199,445	10.2%	1,063	131,648	0.8%	2,664	84,032	3.2%
合計		119,948	1,042,423	11.5%	134,800	987,940	13.6%	92,509	515,796	17.9%



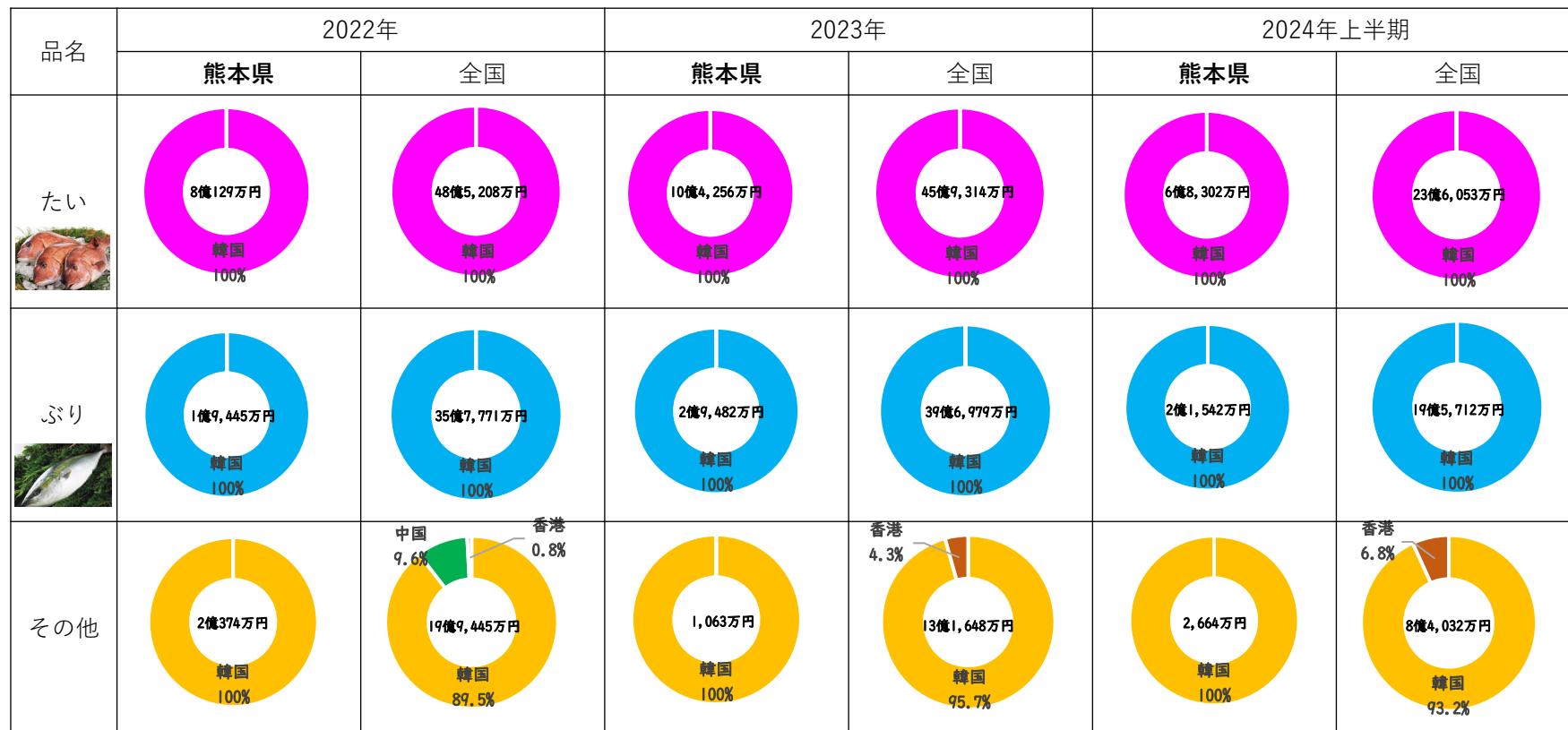
3 仕向国別輸出額

魚種別仕向国別の輸出額は下グラフのとおりとなっています。

熊本県内で輸出許可となった「活魚」は全て韓国向けとなっています。

単位：万円

品名	輸出統計品目番号	2022年			2023年			2024年上半期		
		熊本県	全国分	対全国比	熊本県	全国分	対全国比	熊本県	全国分	対全国比
たい（たい科のもの）	0301.99-100	80,129	485,208	16.5%	104,256	459,314	22.7%	68,302	236,053	28.9%
ぶり（セリオーラ属のもの）	0301.99-200	19,445	357,771	5.4%	29,482	396,979	7.4%	21,542	195,712	11.0%
その他のもの	0301.99-900	20,374	199,445	10.2%	1,063	131,648	0.8%	2,664	84,032	3.2%
合計		119,948	1,042,423	11.5%	134,800	987,940	13.6%	92,509	515,796	17.9%



4 輸出統計品目番号の変遷（その1）

輸出統計品目番号は必要に応じ改正が行われており、「活魚」に関しても例外ではありません。「活魚」に該当する「0301項」に係る改正の変遷は以下のとおりとなっています。

○ 1983年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きていなないものにあっては、生鮮、冷蔵又は冷凍のものに限る。）
		－ 生きているもの
	111	－－ 金魚
	119	－－ その他のもの
		－ 生鮮又は冷蔵のもの（フィレーを除く。）
～～以下、省略～～		

○ 1988年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。）
0301.10		－観賞用の魚
	100	－－金魚
	900	－－その他のもの
		－－その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	－－ます（サルモ・トルタ、サルモ・ガイルドリ、etc）
0301.92	000	－－うなぎ（アングル・イル属のもの）
0301.93	000	－－こい
0301.99	000	－－その他のもの

○ 2003年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。）
0301.10		—観賞用の魚
	100	— — 金魚
	900	— — その他のもの
		— — その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	— — ます（サモ・トル、オソロヒュンクス・ミキ、etc）
0301.92	000	— — うなぎ（アングル属のもの）
0301.93	000	— — こい
0301.99	100	— — たい
	900	— — その他のもの

○ 2007年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。）
0301.10		－観賞用の魚
	100	－－金魚
	900	－－その他のもの
		－－その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	－－ます（サルモ・トルタ、オンコルヒンクス・ミキス、etc）
0301.92	000	－－うなぎ（アング・イル属のもの）
0301.93	000	－－こい
0301.94	000	－－くろまぐろ（トウヌス・ティヌス）
0301.95	000	－－みなみまぐろ（トウヌス・マッコイ）
0301.99	100	－－たい
	900	－－その他のもの

○ 2012年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。） － 観賞用の魚
0301.11		－－淡水魚
	100	－－－金魚
	900	－－－その他のもの
0301.19	000	－－その他のもの －－－他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	－－ます（ザモ・トモ、オコロヒンクス・ミキス、etc）
0301.92	000	－－うなぎ（アング・イル属のもの）
0301.93	000	－－こい（キューピス・カルピ・オ、カラシクス・カラシクス、etc）
0301.94		－－くろまぐろ（トウヌス・ティヌス及びトウヌス・オリエンタリス） 100 200 －－－くろまぐろ（トウヌス・オリエンタリス）
0301.95	000	－－みなみまぐろ（トウヌス・マコイ）
0301.99		－－その他のもの 100 200 －－－たい（たい科のもの） －－－こい 900 －－－その他のもの

個別に集計できる品名（魚の種類）は増えてきて
いるんだね。
2003年から「たい」の輸出額を集計できるよう
なっているね。



4 輸出統計品目番号の変遷（その2）

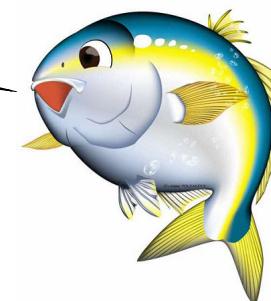
○ 2018年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。） －観賞用の魚
0301.11		－－淡水魚
	100	－－－金魚
	900	－－－その他のもの
0301.19	000	－－－その他のもの －－－－その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	－－－ます（サルモ・トル、オンコルヒュンクス・ミキス、etc）
0301.92	000	－－－うなぎ（アング　イルラ属のもの）
0301.93	000	－－－こい（クテノファリュンゴ　ドン・イヘ　ルス、etc）
0301.94		－－－くろまぐろ（トウヌス・ティヌス及びトウヌス・オリエンタリス） 100 －－－くろまぐろ（トウヌス・ティヌス） 200 －－－くろまぐろ（トウヌス・オリエンタリス）
0301.95	000	－－－みなみまぐろ（トウヌス・マッコイ）
0301.99		－－－その他のもの 100 －－－－たい（たい科のもの） 900 －－－－その他のもの

○ 2022年版

番号	細分番号	品名
03.01		魚（生きているものに限る。） －観賞用の魚
0301.11		－－淡水魚
	100	－－－金魚（カラシウス・アクラウス）
	200	－－－－こい（キブリヌ属のもの）
	900	－－－－その他のもの
0301.19	000	－－－－その他のもの －－－－－その他の魚（生きているものに限る。）
0301.91	000	－－－ます（サルモ・トル、オンコルヒュンクス・ミキス、etc）
0301.92	000	－－－うなぎ（アング　イルラ属のもの）
0301.93	000	－－－こい（クテノファリュンゴ　ドン・イヘ　ルス、etc）
0301.94		－－－くろまぐろ（トウヌス・ティヌス及びトウヌス・オリエンタリス） 100 －－－くろまぐろ（トウヌス・ティヌス） 200 －－－くろまぐろ（トウヌス・オリエンタリス）
0301.95	000	－－－みなみまぐろ（トウヌス・マッコイ）
0301.99		－－－－その他のもの 100 －－－－－たい（たい科のもの） 200 －－－－－ぶり（セリオーラ属のもの） 900 －－－－－その他のもの

2022年から「ぶり」の輸出額が集計できるようになったんだけど、「セリオーラ属のもの」と記載されているから、「かんばち」や「ひらまさ」も含まれているよ。



5 魚種別輸出額の推移

熊本県内で輸出通関された魚種毎の輸出額は下表のとおりであり、「観賞用の魚」と「その他の魚」に大別されています。

輸出統計品目番号は必要な改正が行われており、2022年版において「その他の魚」の中に「ぶり（セリオーラ属のもの）」が追加され、現在に至っています。

単位：千円

品名	1983年	1984年	1985年	1986年	1987年	1988年	1989年	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年
観賞用の魚																
金魚	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他のもの	—	—	—	—	—	40,495	41,305	33,965	21,631	7,125	—	—	—	365	—	—
その他の魚																
こい	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
たい（たい科のもの）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ぶり（セリオーラ属のもの）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他のもの	19,862	—	30,288	55,253	16,396	20,218	8,550	15,875	27,649	30,168	101,968	42,613	4,650	1,080	29,125	—

品名	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
観賞用の魚																
金魚	1,058	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他のもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の魚																
こい	1,776	—	2,154	22,756	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
たい（たい科のもの）	—	—	—	35,025	56,759	129,436	54,608	35,000	92,568	13,520	167,425	395,414	328,219	92,920	197,483	234,225
ぶり（セリオーラ属のもの）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他のもの	3,720	50,474	44,414	—	11,506	32,964	27,600	3,498	942	—	—	1,512	3,025	—	—	8,218

品名	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年 (上半期)
観賞用の魚										
金魚	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他のもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の魚										
こい	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
たい（たい科のもの）	385,230	351,194	266,192	154,940	148,849	504,021	362,468	801,290	1,042,555	683,024
ぶり（セリオーラ属のもの）	—	—	—	—	—	—	—	194,450	294,817	215,420
その他のもの	20,213	13,790	26,264	110,250	310,886	558,697	430,142	203,739	10,631	26,641

(注) 1983~1987年の輸出額の品名は、観賞用であるか否かの判断ができないため、便宜的に「他の魚-その他のもの」に計上